

黒部市 発表
令和5年6月27日(火)

【照会先】
黒部市民病院総務課
総務課長 池田 秀之
総務課用度係長 中井 英恵
電話 (0765)54-2211

報道関係者 各位

内視鏡手術支援ロボットシステムの導入

1. 概要

黒部市民病院に、外科や泌尿器科、産婦人科、呼吸器外科領域におけるがん内視鏡手術に有効な手術支援ロボットシステムを導入します。

今後、市民病院ではこのダビンチを活用し、より安全で安心な手術を提供し、新川医療圏の外科医療水準の向上と、県内・県外からの集患に期待しています。

2. 導入機器

米国インテュイティブサージカル合同会社製 ダビンチ エックスアイ
「Da Vinci Xi」
(令和5年6月24日納入)



ロボットシステムによる手術は、腹部や胸部に数か所の孔をあけ、医師が操作するロボットアームを挿入し、内視鏡下でのクリアな3D高解像度画像でより広い視野を確保しながら、手振れのない繊細で精密な手術を行う事が可能になります。従来の開腹手術に比べると、手術後の傷が小さく、痛みが軽減され手術後の回復も早く、手術中の出血が少ない等のメリットがあります。

3. 導入費

システム購入費 283,140千円(税込)

4. 導入実績

6月1日現在で全国で570台が稼働。県内では、県立中央病院、大学附属病院、市立砺波総合病院、厚生連高岡病院、高岡市民病院に次いで6番目、新川医療圏では初めての導入。

5. 今後の予定

医師・看護師・臨床工学技士等の操作・運用研修、洗浄スタッフ等の術後の洗浄・滅菌トレーニングを経た後、9月上中旬から、当院の症例に対して導入を開始する予定